

『一生懸命』幻の新座市議会報告第246弾!



たかむらともや

日記

HP”たかやんの応援団”に日記を書きはじめ20年と半年が経とうとしています。

小さい頃から、何をやっても続かなかった子が五中、六中、二中で担任になって子ども達の姿を学級通信に書くことに幸せを感じるようになって21年。後半の11年は毎日書いたのですから驚きです。今の日記はその時の学級通信に比べたら屁みたいなものです。この『一生懸命』も・・・(笑)

十九歳

体操の宮田笙子選手が五輪出場辞退に追い込まれた。19歳で飲酒と喫煙をしたというのが理由らしい。汚い裏金問題でも学歴詐称でも責任を取らないどこかの大人たちとはえらい違いだ。国代表だからでは理由にならない。それは金に汚い国会議員たちだって同じだろうよ・・・。東京都を代表するババアも同じだろうよ。学歴詐称の都知事のもとで「東京オリンピック」をやったんじゃないのか・・・。19歳の俺・・・喫煙はしなかったが、札幌で先輩達と飲みまくり、2階から飛んだり、大通りでストームをやって車をとめたり・・・間違いだらけの19歳だった。

大人たちは19歳の少女に何を求めているんだ。ジジイやババアの不正には黙っている癖に、19歳の体操選手には厳し過ぎないか・・・。彼女がどれだけ努力してきたか、想像するだけで涙がでる。彼女はズルをして全日本で3連覇した訳ではない。ドーピングをやった訳ではないのだ。汚い金で得点を買った訳でもない。練習して、練習して、練習して・・・勝ち取ったオリンピック出場権だ。19歳の学生を飲酒と喫煙で罰するなら「謹慎」か「休学」か最悪でも「退学」だろう。

彼女の努力を奪う権利は誰にもない。

(7月20日のたかやん日記から)

2024年7月31日発行



40年振りに第五中のアフターチャレンジで授業をしました。子ども達の集中してキラキラした目がとても新鮮でした。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
東京青山生まれ。
新宿区立西戸山中学、都立石神井高校
北海道大学卒。

21歳の大学3年の冬に「教師になる」ことを決意。1977年4月、新座市立第五中学校に赴任。3年4組の担任となる。その後、新座六中、新座二中へ。二中で「子ども達と仲良くするな!」という管理職と衝突し、教え子達と一緒に卒業する。その21年間で理科、数学、国語、英語、体育を教えたことが今の人生に役立っている。

2000年の市議選で1万円以下で戦い、25票差で落選。2004年に初当選。今年2月の選挙で6度目の当選。上田美小枝と組んで「市民と語る会」を結成。21年目を迎えている。写真は弟の宇人。昔々、二人で「たかやんバンド」を組んで中学生と一緒に音楽会をやったことがある。勿論、僕がヴォーカルで宇人はギター(笑)。

たかやんの連絡先

自宅・塾

042-456-8869

携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

不登校の君たちへ

実は僕も中三の時に不登校になりかけたことがあります。ワルガキだった僕が中二になって隣の席のリエちゃんという超美人に「一緒に勉強しよ」と言われて舞い上がり偏差値が20以上上がって、調子に乗りました。3年生になって、天才少女二人の間の席になり、偏差値が70を軽く超えて、テニスでも「西戸山の天才」と言われ、全校朝会で表彰されたりしたことに、昔の「悪友達」は快く思わなかったのでしょう。

ある日、不良集団に教室に呼び出され、「調子に乗ってんじゃねえ」とドスを突きつけられて脅されたことがありました。

僕はドス(短い刀)で脅かされたことよりも嘗ての仲間たちに脅されたことがショックでした。それで学校を休んだのです。

その時、担任の河合隆慶は直ぐに中野の我が家に家庭訪問に来てくれました。

そこで何を言ってくれたのか・・・よく覚えてないのですが、僕は次の日から一日も休まず登校しました。多分、「安心」したのだと思います。昔の仲間とも、それ以降はまた仲良くなって、何のトラブルにもなりません。普通なら、学校にドスを持ってきたら大問題になるのですが、きっと、彼らに対しても僕の”貨幣偽造”の時のように、先生はきつくは叱っても親を呼びだしたりはしなかったのだと思います。

僕は河合先生のお陰で学校に対していいイメージを持ったまま卒業することができました。河合隆慶の「先生目」によって授業は勿論、友だちや先生とのかけがえのない時間を過ごすことができたのです。

その結果、僕はどうしても行きたかった高校に合格。謝恩会では仲間たちとバンドを組んでボーカルで歌い、拍手喝さいを浴びて、人前で歌うことの快感も経験しました。

卒業の直後、河合先生の家を押しかけてみんなでご馳走になったときの写真には幸せな顔をした僕と僕の人生を変えてくれた先生と友だちが笑顔で写っています。

クリハラ

今回も「子ども達がボール遊びが出来る公園を増やそう」という質問をしました。

栗原六丁目にある「栗原公園」は大人がゲートボールを楽しんでいます。子ども達のボール遊びは禁止されています。

僕はこれを**クリハラ**と呼んでいます。これは「こどものボール遊びは危険だからするな！」という栗原公園を利用する、あるいは地域の大人の**エゴ**であり、子どもたちに対する**ハラスメント**という意味です。

子ども達が安心してボール遊びができる場所を確保することは大人の責務です。

勿論、栗原公園でバットを振り回したり、サッカーボールを思いきり蹴るような遊びは危険です。でも、周りの安全を確保してのボール遊びなら問題ないはずですよ。

そうゲートボールもそういう意味で安全なボール遊びですよ。

子ども達のキャッチボールと大人のゲートボールのどこが違うのでしょうか。

大人はよくて小中学生はダメという意味が僕には分かりません。だから**クリハラ**。

誰にでも**合理的配慮**という言葉は当てはまります。勿論お年寄りも、子ども達にも。

公園はみんなのものです。そんな当たり前のことが忘れられていい訳がない。



子ども達に**合理的配慮**がされている石神のスーパー公園では子ども達が元気よくボール遊びをしています。こういう公園たくさん増やしたい。**大人の我儘でクリハラ**をこれ以上増やすのはやめにしませんか。

